

森林工芸館の

あれこれ

no.01  
4  
2020



町民であれば一度は目にしたことがある

「オケクラフト」。

でも、そのオケクラフトって実はなに？

工芸館、どま工房、共同工房の関係性って？

近いからこそ知らなかった、工芸館のあれこれ。

皆さんに知ってほしくてまとめました。

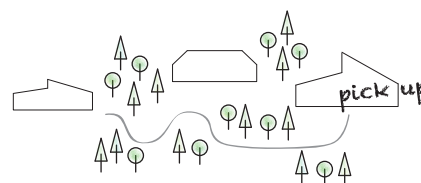
オケクラフトセンター森林工芸館は、一九八三年に誕生した置戸町の地域ブランド「オケクラフト」の中心施設として、一九八八年に開設しました。

隣り合う共同工房は一九九三年に、どま工房は一九九四年に開設され、三館がそれぞれの役割を果たし補うことで、森林工芸館は成り立っています。

まずは、オケクラフトの中心地「森林工芸館」について、その内部をのぞいてみましょう。



オケクラフトセンター森林工芸館  
1988年4月開設  
木造2階建て  
open 10:00~18:00  
close 毎週水曜日 / 年末年始  
※水曜日が祝日の場合は開館



工房

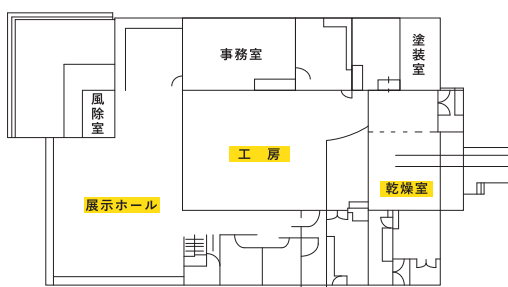


一階には、オケクラフトが生まれる工房があります。ここは、作り手になるための研修制度「オケクラフト作り手養成塾」の塾生が学ぶ場所でもあります。木工ろくろや万能木工機が設置され、ガラス越しに製作風景を見ることが出来ます。

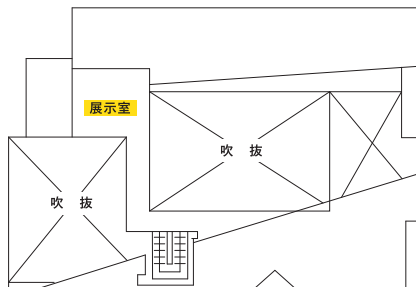
展示室



二階には、オケクラフト誕生当初からの作品が、並べられています。当時の流行を知ることが出来る貴重な資料です。

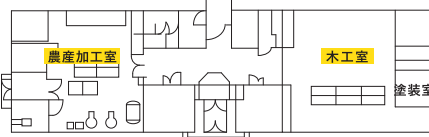


1階



2階

ショップ（展示ホール）



農産加工室

地域の食材を加工する部屋で、町内の主婦グループをはじめ、いろんな方が料理をすることが出来ます。ここにある蒸気釜は、蒸気を使って調理することから、熱が伝わりやすく一度に沢山の量を作ることが出来ます。

木工室

「木に親しむ日」などの木工教室をしている部屋です。糸鋸やボール盤などの木工機械が揃っています。

乾燥室

「木に親しむ日」などの木工教室をしている部屋の乾燥室です。木材が、作り手に提供されていきます。



オケクラフトを中心に、町内で製作された商品を展示販売しています。丁寧に作られた商品が、個人工房ごとに並べられています。実際に手に取って、見て、自分だけのお気に入りを見つけてみてください。

表からは見ることができないこの部屋は、材料となる木材の乾燥をしている所です。伐採してすぐの木は、水分を多く含んでいて、乾燥とともに狂いが生じてしまいます。その狂いが出ないように機械で調節され、加工に適した水分量に調整された木材が、作り手に提供されていきます。

